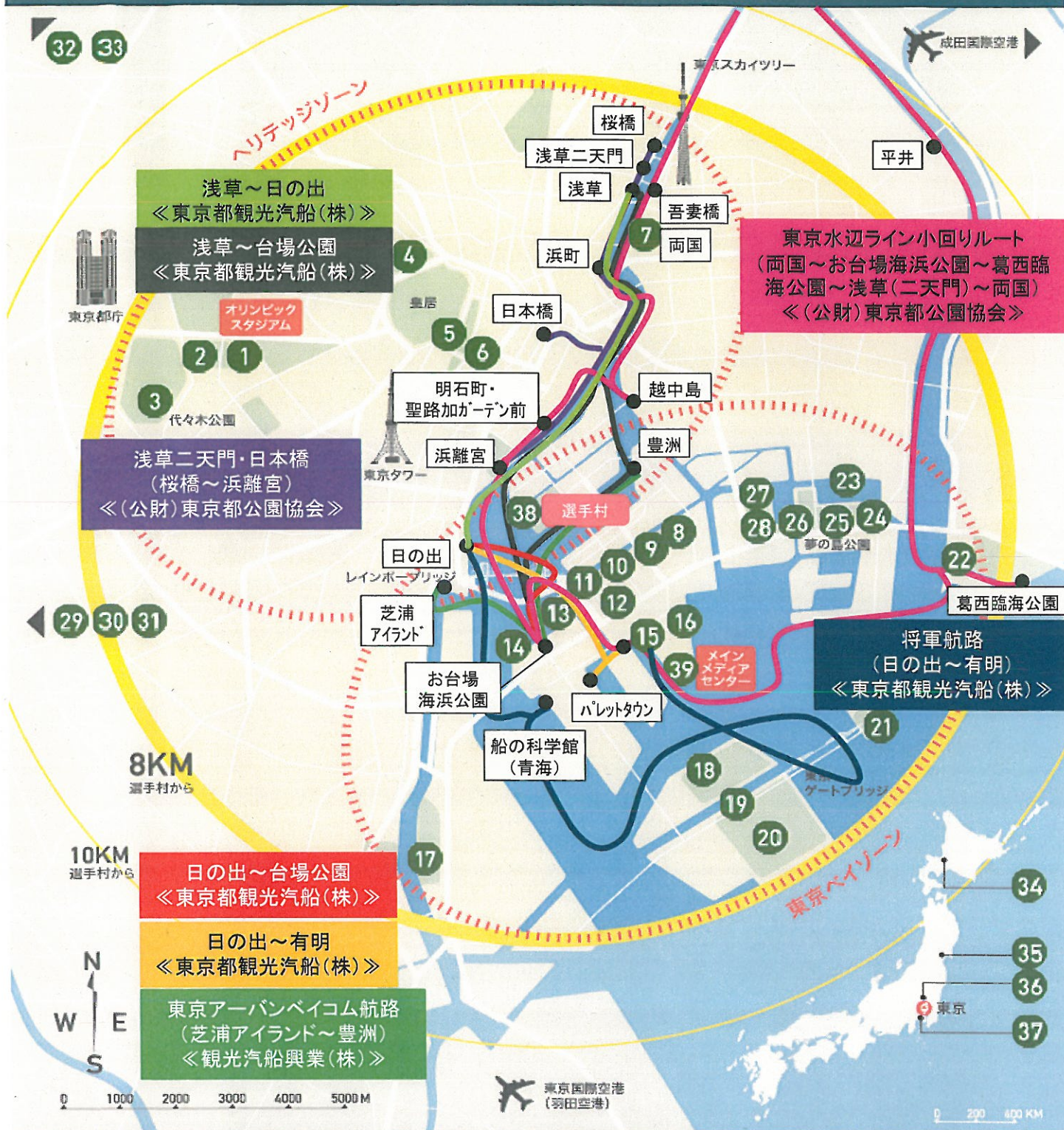


# 東京の河川・港内を走る水上バス (一般旅客定期航路 航路図)



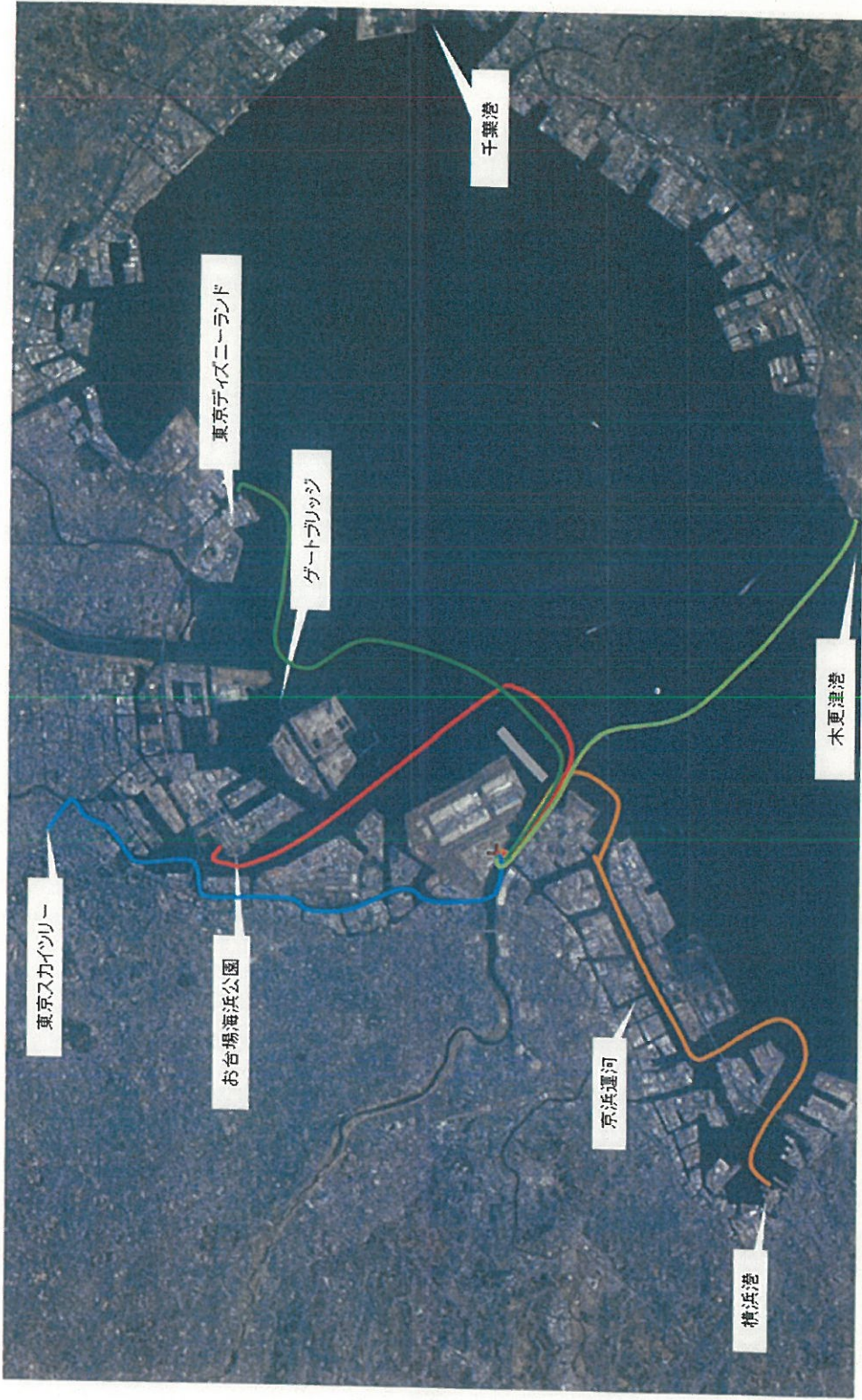
- |               |                  |                      |                 |
|---------------|------------------|----------------------|-----------------|
| ① オリンピックスタジアム | ⑪ 有明体育競技場        | ⑲ 若洲オリンピックマリーナ       | ⑳ 武蔵野の森総合スポーツ施設 |
| ② 東京体育館       | ⑫ 有明テニスの森        | ㉑ 葛西臨海公園             | ㉒ 東京スタジアム       |
| ③ 国立代々木競技場    | ⑬ お台場海浜公園        | ㉓ 夢の島ユース・プラザ・アリーナA 所 | ㉔ ウォーターポロアリーナ   |
| ④ 日本武道館       | ⑭ 潮風公園           | ㉕ 夢の島公園              | ㉖ 武蔵野の森総合スポーツ施設 |
| ⑤ 皇居外苑        | ⑮ 東京ビッグサイト・ホールA  | ㉗ 夢の島競技場             | ㉘ 東京スタジアム       |
| ⑥ 東京国際フォーラム   | ⑯ 東京ビッグサイト・ホールB  | ㉙ オリピックアクアティックセンター   | ㉚ 東京スタジアム       |
| ⑦ 国技館         | ⑰ 大井ホッケー競技場      | ㉛ ウォーターポロアリーナ        | ㉜ 東京スタジアム       |
| ⑧ 有明アリーナ      | ⑱ 海の森クロスカントリーコース | ㉝ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㉞ 東京スタジアム       |
| ⑨ 有明BMXコース    | ⑳ 海の森水上競技場       | ㉟ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㊱ 東京スタジアム       |
| ⑩ 有明ベロドローム    | ㉑ 海の森マウンテンバイクコース | ㊲ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㊳ 東京スタジアム       |
|               |                  | ㊴ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㊵ 東京スタジアム       |
|               |                  | ㊶ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㊷ 東京スタジアム       |
|               |                  | ㊸ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㊹ 東京スタジアム       |
|               |                  | ㊺ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㊻ 東京スタジアム       |
|               |                  | ㊼ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㊽ 東京スタジアム       |
|               |                  | ㊾ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㊿ 東京スタジアム       |
|               |                  | ㊿ 武蔵野の森総合スポーツ施設      | ㊿ 東京スタジアム       |

(出典)東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会HP

日本空港ビルディング(株)

「羽田船着場」を利用した運航ネットワーク（航路イメージ）

平成26年2月10日  
日本空港ビルディング(株)



- ① 羽田～横浜 (D滑走路&京浜運河工場夜景)
- ② 羽田～お台場 (D滑走路&お台場ショッピングゾーン)
- ③ 羽田～福岡 (品川～日本橋～京浜運河)
- ④ 羽田～浦安 (D滑走路&ゲートブリッジ&TDL)
- ⑤ 羽田～木更津 (D滑走路&木更津アウトレット)

〈運航実績〉

- 平成 23 年度：試験運行・防災訓練 20 回、観光 30 回
- 平成 24 年度：防災訓練 1 回、観光 60 回
- 平成 25 年度：防災訓練 1 回・観光 50 回(1 月未まで)

〈注〉①②は 不定期航路許可済、定期航路申請中。

東京国際空港遠景



多摩川

C滑走路

国内線ターミナル地区

A滑走路

国際線ターミナル地区

B滑走路

(第2ゾーン西側)

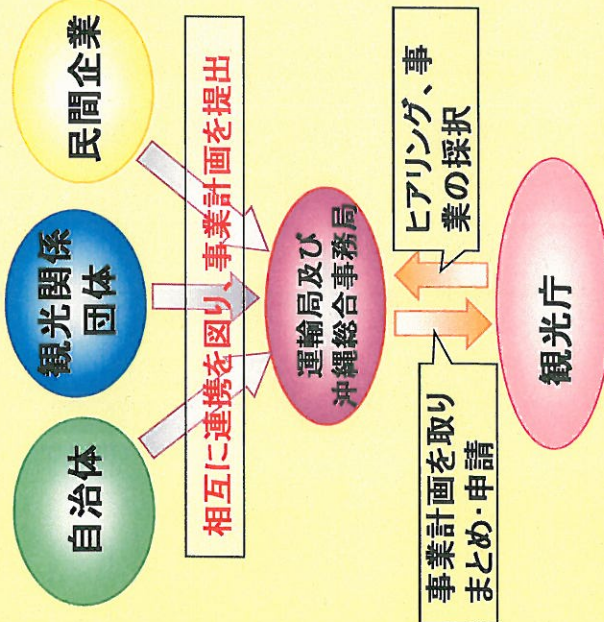
羽田空港船着場

大田区

# 関東運輸局 企画観光部

# ヒジット・ジャパン地方連携事業

- 都道府県の枠を越えて、自治体等間で広域で取り組む訪日プロモーションについて、国と地方で連携事業を実施。
- 訪問地の多様化を図り、増加するリピーター需要へ対応するとともに、インバウンドに取り組む自治体間の連携を促し、滞在日数の長い外国人旅行者のニーズに即した誘客を実現。



- ◎ **都道府県の枠を越えて、広域で協働して事業を実施。**
- ◎ 総事業費の最大50%を国が負担し、連携事業として実施。
- 連携・協働を図り事業規模を拡大することにより、プロモーションの効率・効果を大幅に向上。
- また、滞在日数の長い外国人旅行者のニーズに対応した広域単位での誘客を実現。



## 【事業内容】

- 日本向け旅行商品造成のための旅行会社関係者等の招請
- 海外の旅行博への出展
- 海外の新聞・雑誌等への広告掲載
- 海外向け情報発信のためのメディア関係者等の招請
- 外国人観光客向けパンフレット作成
- 訪日教育旅行促進のための教育関係者等の招請 等

## 東京湾の水辺と産業観光を巡る新たな魅力発見・誘客事業

総事業費6,000,000円 (国負担：2,995,000円 連携先：3,005,000円)

### 事業の概要

韓国・台湾のメディア、旅行会社を招聘し、豊富な水辺の観光資源が集約されている京浜臨海地域から三浦半島地域を視察するフアムトリップ(城ヶ島水中観光船、川崎工場夜景クルーズ、品川屋形船の体験乗船等)を実施。羽田空港からのアクセス性を併せてPRすることで、新たな旅行商品の造成とメディア露出による誘客を強化することを目的とした。

◆実施時期：平成25年6月4日(火)～6月7日(金) 3泊4日

◆招請対象者：韓国メディア2社4名 旅行会社2社2名

台湾メディア3社3名ブローカー1名、旅行会社2社2名 合計12名

### ポイント

#### ○水辺の自然景観

京急電車を利用して三浦半島の観光地を紹介。都心からの近さと特色のある風景・雰囲気良かったとの意見があった。

#### ○水族館・産業観光施設

水辺に点在するいくつかの水族館を紹介。規模感やアクセス性により評判の差があった。また産業観光施設については教育旅行向けに適しているなどの意見があった。

#### ○街歩き

蒲田地区の街歩き観光を実施した。時間も長くじっくり見られた点は評価が高かった。視察先の銭湯では熱心な質問が飛び交っていた。

### 事業の成果

#### 【広告換算費】

「Tour de Monde」(韓国雑誌)	10ページ	約280万円	「創造旅行社」(台湾)	TDRと富士山の美景、軍艦見学お楽しみの旅5日間
「AB-ROAD」(韓国雑誌)	8ページ	約224万円	「福泰旅行社」(台湾)	【楽しさ総動員】6大テーマを巡る豪華な旅5日間
「行遍天下」(台湾雑誌)	4ページ	約280万円	「福泰旅行社」(台湾)	日本軍事関連施設の旅5日間パートII
「YAHOOトラベルチャンネル」(台湾WEB)	3回	約120万円	「CJ Worldis」(韓国)	ツアー検討中
「旅遊経」(台湾WEB)	4回	約24万円	「Sky Land Tour(Jharu)」(韓国)	ツアー検討中

#### 【旅行商品造成】

「創造旅行社」(台湾)	TDRと富士山の美景、軍艦見学お楽しみの旅5日間
「福泰旅行社」(台湾)	【楽しさ総動員】6大テーマを巡る豪華な旅5日間
「福泰旅行社」(台湾)	日本軍事関連施設の旅5日間パートII
「CJ Worldis」(韓国)	ツアー検討中
「Sky Land Tour(Jharu)」(韓国)	ツアー検討中

屋形船



雰囲気がある船内で食事と船遊びができることが良いという意見があった。また昔風の船と現代風の景色を楽しめる点も評価が高かった。

横浜・八景島シーパラダイス



規模が大きい点や多様な施設がある点が評価が高かった。家族向けには良いが価格が高すぎるという指摘もあがった。

関東地方整備局  
荒川下流河川事務所



# 防災船着場を活用した舟運の推進



## 1. 背景

大規模災害時に復旧資材や救援物資の運搬を行う防災施設として整備された船着場（国土交通省、東京都、埼玉県）は、平常時に開放されていないものが多い。開放されていても『防災船着場』としての認知度は低い。



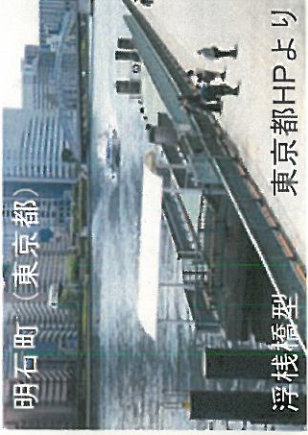
川口（国土交通省・埼玉県）

岸壁型



岩淵（国土交通省・北区）

浮棧橋型



明石町（東京都）

浮棧橋型



番所橋（江東区）

岸壁型

東京都HPより

## 2. 目的

防災船着場を平常時から利用することで、災害時の安全且つ確実な機能発揮に資することなどを目的に、平成23年度に「東京低地河川活用推進協議会」を発足。平常時利用拡大へ向けた現状の課題を抽出し、対応策や仕組みづくり等について検討を行っている。

## 3. 協議会のテーマ

- 海・川・道を結ぶ防災ネットワークとその結節点としての機能 確保
- 利用者の自己責任による使用を基本とし、地域コミュニティと調和した船着場利用ルール整備
- シンボルプロジェクトの提案による新たな魅力の発信

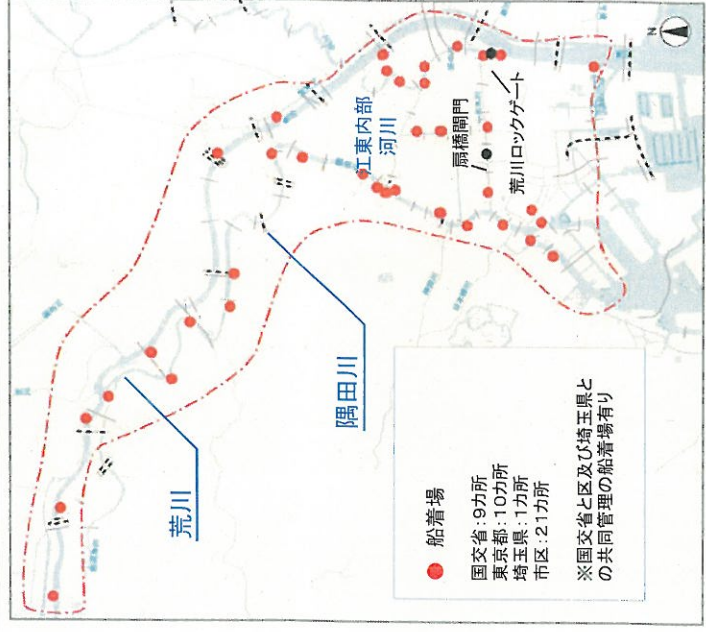
## 4. 協議会の構成

【学識経験者】

日本大学理工学部(都市計画・都市交通)	岸井隆幸 教授
法政大学デザイン工学部(都市史)	陣内秀信 教授
関東学院大学	宮村忠 名誉教授
東京農業大学地域環境科学部(造園計画)	鈴木誠 教授
芝浦工業大学工学部(都市水文学)	守田優 教授

他 関係諸団体(観光・教育・水面利用等)・行政機関(東京都・葛飾区・墨田区・江東区・江戸川区)

## 5. 防災船着場整備状況

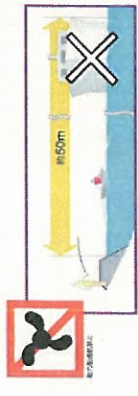


# 防災船着場を活用した舟運の推進(取り組み紹介)



## 6. 通航ルールの策定

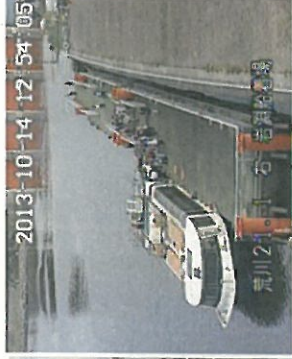
荒川下流部では、様々な船舶が行き来している。しかし、船舶通航時に発生する航走波による水際の植生や河川利用に与える影響、船舶同士の事故増加などの課題であった。そこで、全国初の試みとして平成13年4月1日より河川法に基づく船舶の通航方法を施行した。



↑ 標識を設置し、利用者へルールの理解を促す。上は水際の通航を禁止するもの。  
↑ 手こぎボートが安心して通航出来るように動力船の通航を禁止するもの。

## 7. 船着場開放へ向けた社会実験

未開放または利用頻度が低い防災船着場を対象に社会実験を実施。「利用者の自己責任による使用」に向けたステップとして、舟運事業者を対象に協議会で作成した「船着場の利用ルール」の検証を行った。



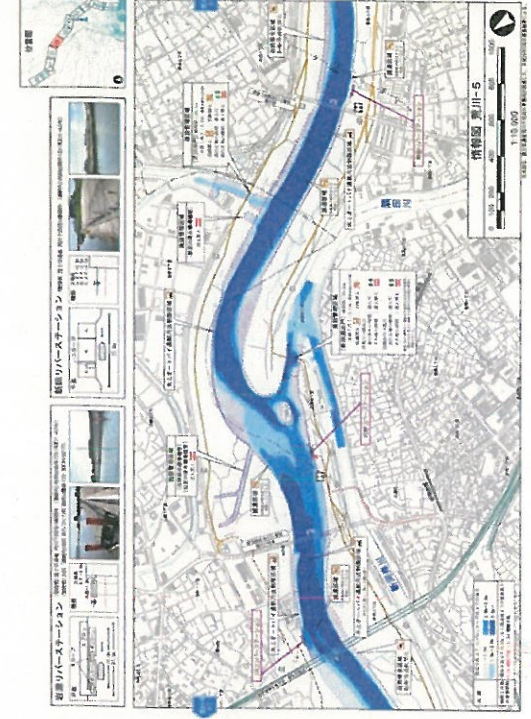
↑ 従来未開放であった国の防災船着場を民間事業者の船舶が利用。  
↑ 管理カメラによる監視により、管理者の立会いでの開放を試行。

↑ 鍵を貸出し自己責任で利用。河川敷へのバスの乗入れ許可による利用活性化。

## 8. ナビゲーションマップ(河川航行情報図)の提供

荒川、隅田川及び江東内河川全域及び東京港を対象として、船舶の航行に必要な水深、船着場の諸元等を整理した「ナビゲーションマップ」を作成。PDFと併せて、スマートフォンやタブレットで利用出来るアプリケーションとして荒川下流河川事務所HPで一般公開を予定。(H26年3月予定)

河道状況に加え、船着場周辺のトイレや公共交通機関を示したナビゲーションマップ。(左図) ↑  
GPSで船の位置を表示しながら安全に航行出来ることが可能となるアプリを開発。(右図) ↑



東京都 産業労働局観光部

参加  
無料

平成25年度

しゅう うん

# 東京都舟運フォーラム

～舟運を活かして魅力倍増！東京の水辺観光～

舟運や河川、運河などの水辺を活用した都市デザインの専門家である陣内秀信氏による基調講演とともに、都内で舟運を活かした水辺の観光振興で活躍する団体によるディスカッションを行い、東京における舟運・水辺の魅力と観光活用について考えるフォーラムを開催します。

平成25年  
**12/16** [月]  
15:00～18:00

受付:14:30～、18:00以降は名刺交換等

※舟運とは、舟によって交通したり物資を運んだりすることを指します。東京都では、この舟運を活用した観光振興を推進しています。

対象 「舟運を活用した水辺の観光振興」に興味のある方 定員 **120**名(申込先着順)

会場 **WATERRAS COMMON** (ワテラスコモン) 3階ホール  
東京都千代田区神田淡路町2-101

## プログラム

### 1. [基調講演]

#### 「水の都・東京と舟運観光」

陣内 秀信氏 (法政大学デザイン工学部教授)

### 2. [パネルディスカッション]

#### 「舟運を活かして魅力倍増！東京の水辺観光」

コーディネーター 陣内 秀信氏 (基調講演者)

パネリスト 阿部 貴明氏 (一般社団法人墨田区観光協会 理事長)

大松 駿一氏 (NPO法人水都東京を創る会 理事長)

佐藤 英也氏 (株式会社ジェイティーピー)

※フォーラム終了後、名刺交換等のできる時間を設ける予定です。

## 講演者・コーディネーター

### 陣内 秀信氏

(法政大学デザイン工学部教授)

ヴェネツィア建築大学やユネスコのローマ・センターへ留学後、東京大学大学院博士課程を修了。専門はイタリア建築史・都市史。イタリアを中心に地中海世界の都市研究を行う。近年では東京を江戸までさかのぼり「水の都市」として再評価する研究を推進。隅田川ルネサンス推進協議会委員、台東区の隅田公園オープンカフェ協議会会長などを多数歴任。  
著書：『東京の空間人類学』（サントリー学芸賞受賞）、『ヴェネツィア-水上の迷宮都市』、『水の都市 江戸・東京』（編著）など。



## パネリスト

### 阿部 貴明氏

(一般社団法人墨田区観光協会 理事長)

1961年墨田区生まれ。青山学院大学法学部卒業後、米国ミシガン州ウエスタンミシガン大学院にてMBA取得。現在、丸源飲料工業(株)代表取締役社長であり、東京商工会議所墨田支部・会長、すみだ地域ブランド推進協議会・副理事長なども務める。2009年4月より一般社団法人墨田区観光協会理事長に就任。同協会は、おしなり公園船着き場等を活用した舟運・街歩きとのコラボといった様々な観光ルートの企画等を行っている。



### 大松 駿一氏

(NPO法人水都東京を創る会 理事長)

1939年東京生まれ。東京の川環境に興味を持ち、江戸東京の川再発見実行委員会に参加。神田川水系の水辺環境向上をめざす神田川ネットワーク会員でもある。2010年にNPO法人水都東京を創る会設立時に理事として参加し、2013年6月より理事長に就任。同団体では、シンポジウムや舟遊びイベントなどの開催を通じ都心の川の再生復権に取り組んでいる。  
著書：『千川上水300年の謎を追う』など。



### 佐藤 英也氏 (株式会社ジェイティーピー)

東日本国内商品事業部営業開発課地域コンテンツ開発担当課長

2011年4月に東日本国内商品事業部内に着地型商品開発を目的とした営業開発課が新設され、地域密着型の着地型商品開発を担当している。日本橋、大田、佐原(千葉県)など、舟運・水辺を活かした観光が活発な地域とも連携しながら舟運観光等のコンテンツの開発や販売を手がけている。





TOKYO 2020

参加申込書に必要事項を記入の上、FAX またはメールでお申込みください。  
なお、メールの場合は、必要事項を記入の上でお申込みください。  
参加決定等のお知らせはいたしませんので、当日会場へお越しください。

●申込期間：平成25年11月18日（月）～12月6日（金）

※先着着信順。定員に達してご参加いただけない場合はご連絡いたします。ご連絡先を必ず明記ください。  
※申込期間以外のお申込みは無効となりますのでご注意ください。

●申込先：東京都産業労働局観光部振興課 舟運フォーラム担当

[FAX] 03-5388-1463

[メール] S0000701@section.metro.tokyo.jp

## 東京都 舟運フォーラム 参加申込書

所属団体・ 大学名等			
ふりがな			
代表者氏名			
代表者連絡先	住所 (所在地)	〒□□□-□□□□	
	電話番号	FAX番号	
	メールアドレス		
参加者名 (他に参加者がいる場合、氏名とともにふりがなもご記入ください。2名まで。)			
ふりがな			
氏名			
今後、水辺・舟運に関する お知らせを送付しても よろしいですか？	はい	・	いいえ
●展示物の希望の有無 舟運・水辺に関連するリーフレットや展示物を置くスペースを設ける予定です。出展のご希望がありましたら、併せてご記入ください。			
リーフレット類 展示希望	内容・種類	冊数・分量	

【個人情報の取扱いについて】この申込書において知りえた個人情報は、本フォーラム、または東京都からのご案内に関する以外に利用いたしません。

### ■会場

**WATERRAS COMMON (ワテラスコモン)**

**3階ホール**

東京都千代田区神田淡路町2丁目101番地

### ■最寄駅

- ・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅  
B2出口 徒歩約2分
- ・JR「御茶ノ水」駅  
聖橋口 徒歩約3分
- ・東京メトロ丸の内線「淡路町」駅  
A5出口 徒歩約2分



■ 問合わせ先：東京都産業労働局観光部振興課 舟運フォーラム担当 電話 03-5320-4802



R100

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

東京都 建設局河川部

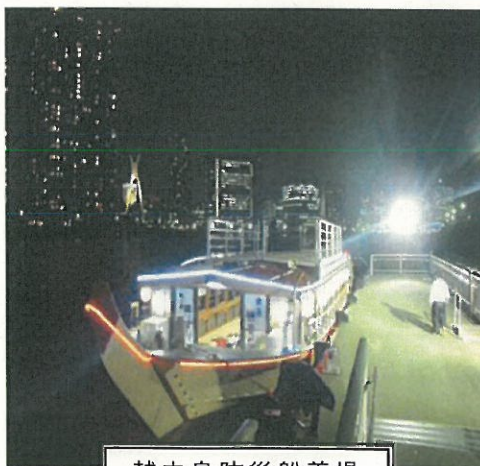
～水辺観光の拠点として～

## 隅田川の東京都の防災船着場を一般開放中

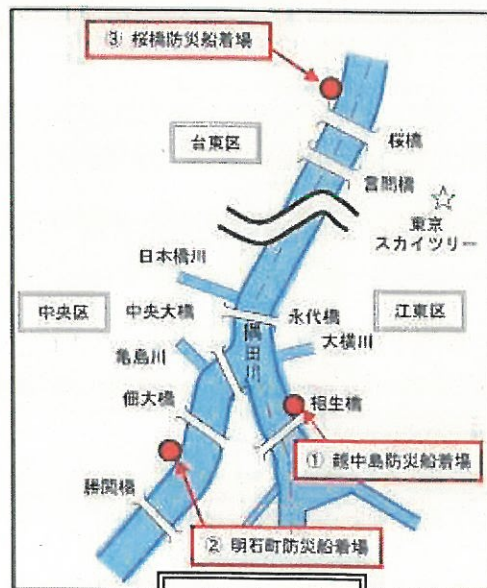
東京都はこれまで、越中島防災船着場（江東区）と明石町防災船着場（中央区）を一般の船舶に開放してきました。東京スカイツリー®開業を契機に、隅田川では水上バスや屋形船など船による観光が盛んになっています。平成24年から試行開放していた桜橋防災船着場（台東区）についても、平成25年11月には本格実施に移行したところです。今後も、東京オリンピックの開催を見据え、多くの方に水上遊覧ツアーなどで東京のまちを楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。

## 【開放している防災船着場】

防災船着場名	①越中島防災船着場	②明石町防災船着場	③桜橋防災船着場
開始時期	H18.6月	H23.7月	H24.5月
所在地	江東区越中島1-3地先 JR越中島駅 徒歩3分	中央区明石町8地先 地下鉄築地駅 徒歩8分	台東区今戸1-1地先 地下鉄浅草駅 徒歩15分
形状	浮棧橋形式		
利用可能船舶	動力船（水上オートバイを除く）		
	全長30m 喫水2mまで	全長40m 喫水2mまで	全長30m 喫水2mまで
利用可能日 (年末年始を除く)	毎日	平日のみ	毎日
利用時間帯	9:00～22:00	4月～10月：10:00～17:00 11月～3月：10:00～16:00	11:00～22:00
料金	屋形船など営業船は1回5,000円 プレジャーボートなど非営業船は1回2,000円		
予約先	公益財団法人 東京都公園協会 水辺事業部 水辺ライン課		



越中島防災船着場



案内図

## [問い合わせ先]

- ・東京都建設局河川部 指導調整課 水政係 電話 03-5320-5405
- ・(公財)東京都公園協会 水辺事業部 水辺ライン課 電話 03-5608-8955

東京都 港湾局 港湾經營部



# 東京クルーズビジョン【概要版】

## I. ビジョン策定にあたって

○ 東京港がクルーズ客船の拠点港として国内外からさらに多くの来訪者を呼び込み、大きな経済効果を取り込むとともに、臨海副都心のMICE・国際観光拠点化を推進するため、東京港におけるクルーズ客船の誘致施策の方向性を示すビジョンを策定する。

※ 策定にあたっては、学識経験者、東京港利用者及び関係行政機関等で構成する検討委員会を設置し、幅広く意見を集約。

## II. 東京港をめぐる状況

### クルーズ市場の動向

- ◆ 世界的な客船の大型化、クルーズの大衆化によるクルーズ人口の増加
- ◆ アジア地域のクルーズ市場の急成長（日本に就航する外国客船が増加）
- ◆ 日本国内のクルーズ人口の急増（2011年16万人→2012年21万人）

### 東京港の現状

- ◆ 晴海客船ふ頭手前のレインボンブリッジ（海面からの高さ52m）の下を通過できない大型客船が近年急増しているなど、施設面で十分でない。
- ◆ 首都東京の港であるにもかかわらず客船利用回数が少ない。

クルーズが急速に身近なものとなる中、「首都の玄関口」である東京港が、利用者の期待に十分に応えていくことが必要。

## 【2028年（平成40年）時点での年間誘致目標】

東京オリンピック・パラリンピック開催や新客船ふ頭供用開始等を踏まえ、  
東京港クルーズ利用人口50万人、クルーズ客船利用回数280回と設定

## III. 「首都の玄関口」東京港が目指す姿

### 1. 基本的な考え方

○ 東京ならではの強みを活かす

- ① 交通アクセスの充実：東京駅、羽田空港に近接、国内外へのアクセス至便
- ② 観光資源の充実：都心に近く、都内の観光やショッピングに便利
- ③ 背後圏の人口集積：首都圏4000万人の人口が集積

⇒ 東京の「集客力」を活かすため、発着港としての体制強化を中心に据える。

### 2. 主なターゲット

＜日本籍船＞

- ◆ 母港化の推進（年間を通じて安定した利用回数を確保）

＜外国籍船＞

- ◆ 乗客数千人規模の大型クルーズ客船の発着・寄港
- ◆ フライ&クルーズ（往路または復路が航空利用のクルーズ）の発着

### 3. 今後の施策

- ・ 世界最大の客船にも対応可能な新客船ふ頭を臨海副都心に整備。  
（2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、早期開業を目指す）
- ・ 利用者の利便性を追求した施設整備を行うとともに、より積極的な誘致活動を展開。



## <新客船ふ頭計画イメージ>

青海コンテナふ頭北側水域に新客船ふ頭を整備

(2013年(H25)11月19日第7次改訂港湾計画の変更により位置づけられた係留施設1バースのみ記載)

